Fukuoka Asian Art Musuem Art Exchange Programs Annual Report 09-10

平成21年度 福岡アジア美術館交流事業報告書

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

福岡アジア美術館交流事業

□招聘事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を一定期間招聘し、様々な美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術の活性化に寄与する。

□受入支援事業

本事業は、他機関から助成等を受けて福岡に滞在するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員等を一定期間受け入れ、その作品制作や調査研究活動を支援することで、アジア美術の発展に寄与する。

平成21年度福岡アジア美術館交流事業報告

「第4回福岡アジア美術トリエンナーレ2009」(略称:FT4)に参加した43組の美術作家の中から10人の美術作家を招聘し、同展の交流プログラムと連動させて様々な交流事業に取り組んだ。
受入支援事業では、美術作家3人と研究者4人の活動を支援した。

美術交流事業

招聘美術作家

ジュー・チュンリン(シンガポール) …… 3
アンキ・プルバンドノ(インドネシア) …… 5
アウン・コ(ミャンマー) …… 7
ウーン・ティエンウェイ(シンガポール) …… 9
ハァ・ユンチャン(中国) …… 11
シーマ・ヌズラット(パキスタン) …… 13
アン・ジョンジュ(韓国) …… 15
ウォン・ホイチョン(マレーシア) …… 17
アショーク・スクマラン(インド) …… 19
ヤオ・ジョンハン(台湾) …… 21

受入支援美術作家

プッティポン・アルーンペン(タイ) …… 23
アショーク・スクマラン(インド) …… 24
ジャオ・レンフイ(シンガポール) …… 25

受入支援研究者

ジャン・ジェンフォン(台湾) …… 26
ヤン・カイティン(台湾) …… 26
リン・ピンチュン(台湾) …… 26
シッダルタ・ダス(インド) …… 26

招聘美術作家

ジュー・チュンリン／Joo Choon Lin

1984年生まれ / シンガポール在住
滞在期間：2009年8月22日〜10月10日

主な活動

ワークショップに参加した中学生が装飾した人形310体と市民から提供された人形211体を用いて、シンガポールの美術作家チュン・カイチュンとともに、FT4の第2会場（冷泉荘）の一室に環境問題をテーマにしたジオラマをつくり、アニメーションを制作した。完成したアニメーションは壁に投影され、ジオラマとともにインスタレーション『緑から茶色、黒、茶色、緑へ』として展示した。

9月10日
人形に木を持たせ、紙やビーズで装飾するワークショップをおこなった。
参加者：百道中学校1年生310人（交流ギャラリー）

9月18日
アニメーションの人形の声を吹き替えるワークショップをおこなった。
参加者：姪北小学校4年生88人（あじびホール）

10月9日〜11月23日
滞在制作したインスタレーション『緑から茶色、黒、茶色、緑へ』を冷泉荘の一室に展示した。

10月17日
原画を描いた「はかたんウォーク灯明めぐり」が福岡市博多区の出来町公園で開催された。

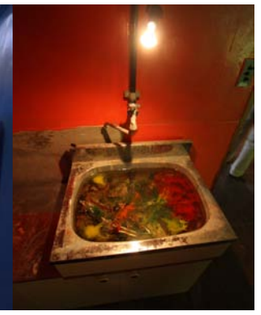
百道中学校1年生とのワークショップ

姪北小学校4年生とのワークショップ

チュンリンと共同制作者のカイチュン(右)

原画を描いた「はかたんウォーク灯明めぐり」

冷泉荘の一室でジオラマを作り、アニメーションの撮影をおこなった


台所シンクにも樹脂が流し込まれた

インスタレーション『緑から茶色、黒、茶色、緑へ』

スタジオに残されたチュンリンとカイチュンのドローイング

招聘美術作家

アンキ・プルバンドノ／Angki Purbandono

1971年生まれ / ジョグジャカルタ(インドネシア)在住
滞在期間：2009年8月27日〜10月1日

主な活動

福岡市内で見つけた古い白黒写真、野菜、海産物などを組み合わせて2つの写真シリーズ『地面から』『記憶』(全18点)を制作した。また、小学生を対象にしたワークショップでは、楽しい立体作品の制作方法を伝授した。

9月7日
おもちゃを組み合わせてアート作品を作るワークショップをおこなった。
参加者：愛宕小学校4年生134人(彫刻ラウンジ)

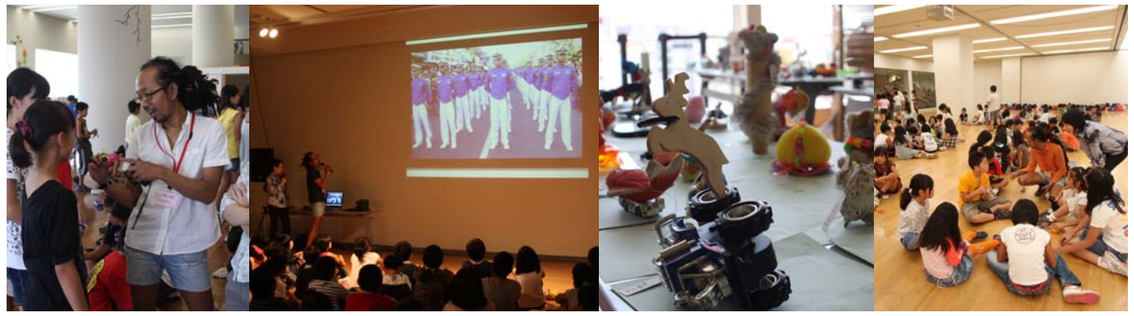
9月15日
おもちゃを組み合わせてアート作品を作るワークショップをおこなった。
参加者：原小学校5年生84人(交流ギャラリー)

9月18日
福岡アジアマンス20周年記念セレモニーに出席した。

9月28日
おもちゃを組み合わせてアート作品を作るワークショップをおこなった。
参加者：警固小学校6年生92人(交流ギャラリー)

10月1日〜11月23日
滞在制作した写真シリーズ『地面から』『記憶』を交流ギャラリーに展示した。

福岡歴史の町骨董村にて作品の材料集め



おもちゃを組み合わせてアート作品を作るワークショップ

『地面から』シリーズより

『記憶』シリーズより

招聘美術作家

アウン・コ／Aung Ko

1980年生まれ / ヤンゴン(ミャンマー)在住
滞在期間：2009年9月1日〜30日

主な活動

古道具屋で見つけた戸棚に戦時中の出来事を描いたり、ミャンマーの村で撮影した子どもと老人たちの顔を貼った王冠（瓶の栓）を取り付けた。さらに戸棚を置いた両脇の壁面に福岡の60歳以上の人たちが昔の思い出を綴った紙と当時の写真を貼ってインスタレーション『私のアイデンティティ・コレクション』を完成させた。

9月15日
大浜公民館や市内の老人ホームなどで地域の人々にインタビューした。

9月17日
福岡アジア文化賞・福岡アジアマンス20周年記念祝賀会に出席した。

9月18日
動植物などをかたどった紙をコラージュするワークショップをおこなった。
参加者：有田小学校3年生105人（交流ギャラリー）

9月25日
動植物などをかたどった紙をコラージュするワークショップをおこなった。
参加者：横手小学校6年生71人（交流ギャラリー）

10月1日〜11月23日
滞在制作したインスタレーション『私のアイデンティティ・コレクション』を交流ギャラリーに展示した。

市内の公民館や老人ホームなどから集められたアンケート

小学生とのワークショップ

制作風景

作品に使った戸棚は、古道具屋で見つけた

『私のアイデンティティ・コレクション』

アジアマンスでのスピーチ

招聘美術作家

ウーン・ティエンウェイ／Woon Tien Wei
1975年生まれ / シンガポール在住
滞在期間：2009年9月3日〜14日

主な活動

シンガポールの文化施設「ポスト・ミュージアム」の代表としてFT4に参加し、同施設共同運営者のジェニファー・テオ、九州大学藤原恵洋研究室の学生らとともに、お金を一切介さない無料のフリー・マーケット『フクオカ・リアリィ・リアリィ・フリー・マーケット（FRRFM）』を各所で開催した。

9月1日〜15日
福岡市中央区にある紺屋2023（konya gallery）でFRRFMを開催した。

9月5日〜11月23日
アジア美術館でFRRFMを開催した。

9月12日
野菜を用いて酵素洗剤を作るワークショップを紺屋2023（konya gallery）でおこなった後、アジア美術館でトークをおこなった。
参加者：一般13人（紺屋2023）、一般38人（アジア美術館）

9月18日〜20日
「アジア太平洋フェスティバル福岡2009」でFRRFMを開催した。

10月24日
天神中央公園でFRRFMを開催した。

11月14日
警固公園でFRRFMを開催した。

11月20日〜22日
「第6回九州大学大橋キャンパス芸工祭」でFRRFMを開催した。

11月21日
「第6回九州大学大橋キャンパス芸工祭」でトークをおこなった。
参加者：一般26人（九州大学大橋キャンパス）

酵素洗剤をつくるワークショップとトークの様子

天神中央公園で開催された『FRRFM』

アジア美術館をはじめ警固公園など各所で開催されたFRRFM

招聘美術作家
ハァ・ユンチャン／He Yunchang

1967年生まれ / 北京(中国)在住
滞在期間：2009年9月2日〜7日

主な活動

福岡から富士山へと向かう旅を想像しながら999個の石1つ1つにその道程を記し、観客がアジア美術館の好きな場所にその石を置いていくというパフォーマンス『臥遊―福岡から富士山まで』を10時間かけておこなった。

9月6日
パフォーマンス『臥遊―福岡から富士山まで』を交流ギャラリーでおこなった。

パフォーマンス『臥遊―福岡から富士山まで』

観客の手によって、館内のあちこちに置かれた石と999番目の最後の石(右)

招聘美術作家
シーマ・ヌズラット／Seema Nusrat

1980年生まれ / カラチ(パキスタン)在住
滞在期間：2009年9月29日〜11月27日

主な活動

日本の伝統的な髪型に触発されて、モップを素材にした立体作品『九十九髪（つくもがみ）』を制作した。また、地域イベント「博多リバレイン灯明」では、自らがデザインした図案をもとに灯明を使って地上絵を浮かび上がらせた。

10月5日
横手小学校の文科省英語研究発表会にゲスト参加した。

10月17日
「博多リバレイン灯明」で自らがデザインした灯明を設置した。

10月22日
紙皿で写真立てをつくるワークショップをおこなった。
参加者：金山小学校4年生47人（あじびホール）

10月31日
ギャラリー・トークをおこない、FT4で展示中の自作について解説した。
参加者：中村学園大学短期大学部20人（企画ギャラリー）

11月6日
靴下でオブジェをつくるワークショップをおこなった。
参加者：大野城市立御陵中学校3年生88人（御陵中学校）

11月7日
ビニールを素材にした作品づくりのワークショップをおこなった。
参加者：一般7人（別府公民館）

11月22日
滞在制作した『九十九髪』を交流ギャラリーに展示した。

11月23日
ギャラリー・トークをおこない、滞在制作作品について解説した。
参加者：一般73人（交流ギャラリー）

制作風景

横手小学校の文科省英語研究発表会にゲスト参加

「博多リバレイン灯明」で作品を設置

大野城市立御陵中学校3年生とのワークショップ

『九十九髪（つくもがみ）』

招聘美術作家
アン・ジョンジュ／An Jungju

1979年生まれ / ソウル(韓国)在住
滞在期間：2009年10月1日〜11月25日

主な活動

太宰府天満宮の参道で撮影した映像に福岡の人々が吹き替えた擬音を合わせた映像作品『リップシンク・プロジェクト（福岡）』を制作した。さらに、小学生とのワークショップを通して『ビデアノ・プロジェクト（福岡）』も制作した。

10月5日
『ビデアノ・プロジェクト（福岡）』を制作するワークショップをおこなった。
参加者：高取小学校6年生175人（交流ギャラリー、あじびホール）

10月10日
『リップシンク・プロジェクト（福岡）』の制作のために太宰府天満宮の参道を撮影した。

11月2日
ギャラリー・トークをおこない、FT4で展示中の自作について解説した。
参加者：福岡カレッジ・オブ・ビジネスの学生27人（アジア美術館）

11月12日
擬音をつけるワークショップをおこなった。
参加者：金山小学校6年生51人（あじびホール）

11月23日
アーティスト・トークをおこない、映像作品を上映した。
参加者：一般85人（あじびホール）

高取小学校6年生とおこなった『ビデアノ・プロジェクト(福岡)』のワークショップ

金山小学校6年生とワークショプをおこない、『リップシンク・プロジェクト(福岡)』の映像からさまざまな擬音を考えてもらった

『リップシンク・プロジェクト(福岡)』のアテレコ風景

『リップシンク・プロジェクト(福岡)』

招聘美術作家
ウォン・ホイチョン／Wong Hoy Cheong

1960年生まれ / セランゴール(マレーシア)在住
滞在期間：2009年10月3日〜11月1日

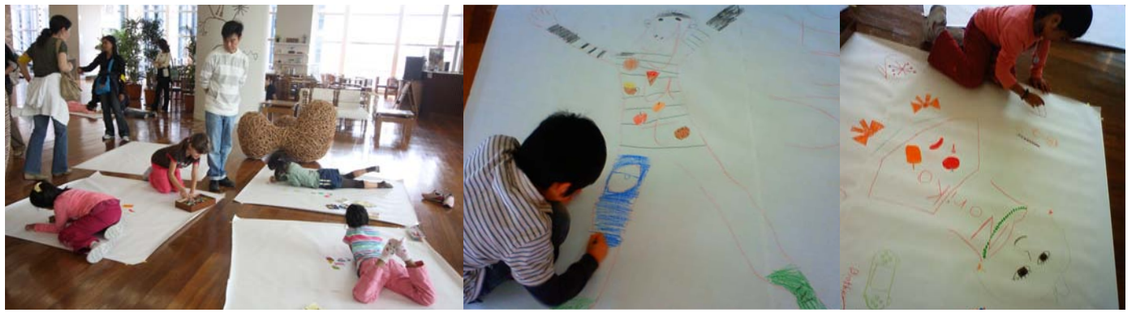
主な活動

FT4の参加作家で沖縄在住の比嘉豊光と、戦争や方言、記憶、アジアなどをテーマにした対談「島クトゥバで語る戦世」をおこなった。また、「日本・マレーシアビデオ交流福岡展」では、アーティスト・トークと自作の映像作品を上映した。

10月10日
「日本・マレーシアビデオ交流福岡展」でアーティスト・トークと自作の映像作品を上映した。
参加者：一般60人（あじびホール）

10月16日
ワークショップ「自分とまわりの世界」をおこなった。
参加者：福岡インターナショナル・スクール2年生15人（彫刻ラウンジ）

10月18日
「島クトゥバで語る戦世」をテーマに比嘉豊光と対談した。
参加者：一般56人（あじびホール）



福岡インターナショナル・スクール2年生とのワークショップ

FT4ラジオ番組「レディオ・トリエンナーレ」に出演

調査の様子

比嘉豊光（左）とのスペシャル対談『島クトゥバで語る戦世』

招聘美術作家
アショーク・スクマラン／Ashok Sukumaran

1974年生まれ / ムンバイ(インド)在住
滞在期間：2009年10月22日〜11月17日

主な活動

福岡市内を調査して周囲とは異なる特徴をもった15の地域（“島”）を探し出すプロジェクトをおこない、その調査結果を地図や解説パネル、写真等からなる『平面図、立ち上がる』として展示した。また、それぞれの地域の航空写真などを印刷したランチョンマットを作り、各地域の人々に配布した。

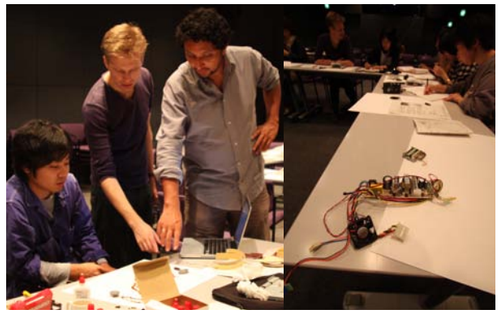
10月24日、25日
九州大学芸術工学部公開講座としてレクチャーとワークショップ「埋もれた宝」をおこなった。
参加者：一般87人（あじびホール）

11月15日
ギャラリー・トークをおこなった。
参加者：一般50人（8階ロビー）

リサーチで話を聞いた人々をはじめ、“島”周辺の店舗や住居を訪れ、ランチョン・マットを配布した

各“島”の過去や現在をそれぞれ1枚のマットにまとめた

ランチョン・マット配布中


九州大学芸術工学部公開講座

福岡での滞在制作について語ったギャラリー・トーク

招聘美術作家
ヤオ・ジョンハン／Yao Chung-han

1981年生まれ / 台北(台湾)在住
滞在期間：2009年11月18日〜26日

主な活動

蛍光灯とレーザー光線を用いた独自のシステムによって演奏されるパフォーマンス『LLSP(Laser-Lamp-Sound-Performance)』をFT4の閉幕イベントとしておこなった。

11月20日
『LLSP(Laser-Lamp-Sound-Performance)』を実演したり、演奏機器に親しむ場を設けた。
参加者：今津特別支援学校100人(今津特別支援学校)

11月22日
パフォーマンス『LLSP(Laser-Lamp-Sound-Performance』をおこなった。
参加者：一般92人(あじびホール)

11月23日
パフォーマンス『LLSP(Laser-Lamp-Sound-Performance』をおこなった。
参加者：一般200人(彫刻ラウンジ)

今津特別支援学校でのワークショップ

あじびホールでおこなった1回目のサウンド・パフォーマンス『LLSP (Laser-Lamp-Sound-Performance)』

彫刻ラウンジでの2回目のパフォーマンス

受入支援美術作家
プッティポン・アルーンペン／Phuttiphong Aroonpheng
1976年生まれ / バンコク(タイ)在住
滞在期間：2008年7月1日〜2009年6月30日

主な活動

日本財団アジア・フェローシップ（APIフェローシップ）で来日。映像作品『制止した瞬間（The Suspended Moment）』を福岡の映像制作グループとともに製作した。多くの市民が出演して、糸島郡二丈町などで撮影をおこなった。

6月20日
制作途中の『静止した瞬間（The Suspended Moment）』を上映した。
製作：Suspended Moment 製作委員会
協力：Room#F（ルームナンバーエフ）
参加者：撮影関係者20人（会議室）

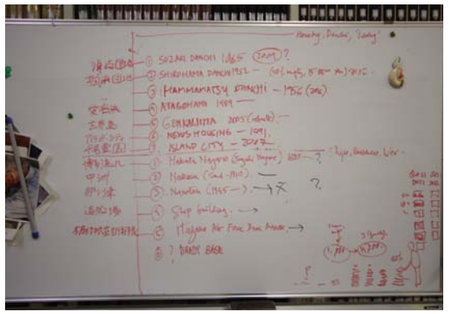
『制止した瞬間』撮影の様子

招聘美術作家
アショーク・スクマラン／Ashok Sukumaran
1974年生まれ / ムンバイ(インド)在住
滞在期間：2009年10月22日〜11月17日

主な活動

国際交流基金の東アジアクリエーター招へいプログラム（JENESYSプログラム）で来日。FT4出品作品のための調査をおこなった。

リサーチのために訪れた造船所



リストアップされた福岡の“島”

『平面図、立ち上がる』

Fukuoka Asian Art Musuem
Art Exchange Programs Annual Report 09-10

招聘美術作家
ジャオ・レンフイ／Zhao Renhui
1983年生まれ / シンガポール在住
滞在期間：2010年3月10日〜4月1日

主な活動

2009年にシンガポールで開催された「第28回大華銀行全国絵画公募展」の大賞受賞者として来日。山口県長門市青海島のくじら資料館、平戸市生月町博物館などを訪問して、捕鯨をテーマにした写真作品を制作した。

4月1日〜5月25日
写真展「クジラの白：モビー・ディック目撃（1982-2008）」を7階ロビーで開催し、日本で撮影した写真7点を展示した。初日には会場でアーティスト・トークをおこなった。
アーティスト・トーク参加者：一般50人（7階ロビー）

(上段)写真展イメージ、(下段)アーティスト・トークの様子

展示作品

Fukuoka Asian Art Musuem
Art Exchange Programs Annual Report 09-10

招聘研究者
ジャン・ジェンフォン／Chang Cheng-feng
1963年生まれ / 台北(台湾)在住
滞在期間：2009年6月1日〜11月30日

主な活動
台湾の国家文化芸術基金会の助成を受けて来日。「第４回福岡トリエンナーレ」について調査・研究した。

Fukuoka Asian Art Musuem
Art Exchange Programs Annual Report 09-10

招聘研究者
ヤン・カイティン／Yang Kai-ting
1982年生まれ / 台北(台湾)在住
滞在期間：2009年7月14日〜10月11日

主な活動
台湾の現代芸術基金会の助成を受けて来日。「第４回福岡トリエンナーレ」の運営補助や制作補助などを通して当館で研修をおこなった。

Fukuoka Asian Art Musuem
Art Exchange Programs Annual Report 09-10

招聘研究者
リン・ピンチュン／Lin Pin-chun
1982年生まれ / 台北(台湾)在住
滞在期間：2009年7月15日〜10月6日

主な活動
台湾の現代芸術基金会の助成を受けて来日。「第４回福岡トリエンナーレ」の運営補助や制作補助などを通して当館で研修をおこなった。

Fukuoka Asian Art Musuem
Art Exchange Programs Annual Report 09-10

招聘研究者
シッダルタ・ダス／Siddhartha Das
1974年生まれ / デリー(インド)在住
滞在期間：2010年2月28日〜3月7日

主な活動
国際交流基金の日本研究フェローシップで来日。「美術館写真プロジェクト」をテーマに、都市空間にある美術館で人々が美術や文化をどのように体験するかについて調査・研究した。